

新進気鋭の サージョンの競演

私の考えるプリザーフロ®
マイクロシャントのこだわり

座 長

森 和彦 先生

(バプテスト眼科長岡クリニック)



プリザーフロ® マイクロシャント (PFM) は2023年に一般発売されており、すでに多くの先生方が本手術を経験されていることかと思えます。低侵襲な濾過手術の1つであるPFMは比較的安全に眼圧を下降させることができるため、合併症発症のリスクの高いトラベキュlectミーの選択に躊躇していた患者さんにとって救いとなっていると考えます。しかしながら濾過手術であることから術後には濾過胞に対する管理が必須であり、チューブ関連の合併症にも注意が必要です。発売されて日も浅いことから術中操作や術後管理において未だ統一した見解がなく、個々の術者が過去の経験をもとに試行錯誤のもとに対応されていることが多いようです。

本セミナーではPFMの臨床経験の豊富な若手の先生方より、術後成績を安定させるための術中・術後管理のコツ、工夫や病診連携についてご紹介いただく予定です。これからの緑内障手術を担われる期待の先生方に講演をお願いしましたので、各先生方の創意工夫、挑戦を肌で感じていただけたかと思います。PFMをこれから始める先生方のみならず、すでに症例を蓄積されておられる先生方にとっても、刺激が得られる機会になればと思っております。是非ご参加ください。

演 者 1

術中・術後管理に
おけるこだわり



西尾 侑祐 先生

(日本医科大学多摩永山病院)

演 者 2

術後合併症
マネジメントのこだわり



三浦 悠作 先生

(高知大学)

演 者 3

病診連携における
こだわり



北村 裕太 先生

(千葉大学)